

これからぼくたちどうなるの??~再生医療や医薬品業界の将来——昨年11月3日、名城大学薬学部(八事キャンパス)の大学祭で、そんな企画イベントが開かれた。薬剤師のキャリアパスなどについて考えようというもので、大学祭ならではの手作り運営だが、厚生労働科学研究費補助金・再生医療など研究事業からの支援を受け、科学技術振興機構(JST)研究開発センターのシニアフェローである川上浩司氏(京都大学医学研究科教授)が進行役を務めた。

キャンパス紹介

名城大学薬学部

これからどうなるの?

生かせるかキャリアパス

イベントは、川上氏の「薬学教育は6年制となったが、薬剤師の働く場所は増えていない」との現状分析からスタート。「卒業後の進路として調剤薬局、病院、製薬会社の3つしかオプションがないというのは残念なこと。皆さんには、自分の人生で、どのくらい何かを成し遂げることができるかについて、考えていただきたい」と、テーゼを投げかけた。

それを受けて、薬剤師以外のキャリアパスについて、JST研究開発戦略センター職員や製薬会社関係者らが、自らの経験などを踏まえ、キャリアパスを生かす就職活動に向けてアドバイスした。

パネラーの1人の山本雄士氏(JST研究開発戦略センター)は、薬学教育6年制と新設薬学部の増加が、薬学生にとって「ヤバイ」ことの1つとして、「高校の同期生と比べ、就職が2年遅くなる上、薬剤師になる人数が増加する一方、薬剤師しかできない仕事は減少している」現状を紹介。「この最悪の循環を本気で考える必要がある」と促した。

第2部では、水野正明氏(名古屋大学医学研究科准教授)を招いて、再生医療の最新知見をはじめ、研究者たちと膝を交えて、キャリアパスについて語る場も設定された。



ステージに聞き入る学生たち

水野氏は、iPS(人工多能性幹細胞)細胞など再生医療の出発材料となる細胞の癌化をコントロールするため、分子コンピュータを組み込んだ細胞を使う研究の一端も紹介。「再生医療マテリアルを人に投与するためには、機能と安全性が極めて重要。これをナノテクノロジーと融合させ、新しい評価システムを作ることが名古屋大学の1つの方向性。そうしたメカニカルなシステム構築には、薬剤師や薬学の知識を持った人が必要」と薬学出身者への期待を示した。

イベントには、多くの学生が参加。再生医療の先端的な取り組みを知ると共に、自分を見つめ直す場にもなったようだ。

イベントを振り返って、川上氏は「薬学教育6年制となり、今後のキャリアパスに不安を持つ学生たちに、仕事の地平線を拡大・開拓していくに当たっての姿勢について、再生医療の発展や企業家精神という観点から提供することができた。参加した学生からも好評で、学生時代にチャレンジすべきことや卒業後の人生について、様々に考えるきっかけとなったという意見を多くいただき、うれしく思っている。今後、このような取り組みを別の機会でも行っていきたい」とコメント。

今回のイベントは、企画責任者を務めた大野慎也さん(4年)が今春から、川上氏の研究室に所属することが決まっていることもあって、協力を得て実現したもの。大野さんは学祭後、次のような感想を寄せてくれた。



ステージでは薬剤師のキャリアパスを提示(左端が川上教授)

大学祭で将来を展望

今回の企画は、私にとってかけがえのない貴重な経験となりました。現在の薬学部の大学教育は、選択肢の幅が狭く思え、薬学を学んだ者の職域がどうというよりはむしろ、薬剤師になることを前提に、どのような薬剤師になるかに重点が置かれている気がします。一方で、他の選択肢を勧誘する際、私たちは選択肢自体を知らなければ、それを選ぶことはできません。医療分野において、私たち薬系出身者が貢献できる場、職を生かせる場は、薬剤師以外にも非常に多く存在すると考えられます。

私自身がこの企画を通じて感じたこと。それは、人生の選択肢を新たな発見と共に付加し、自身の枠を広げていくことは、これから先どのような将来設計を描いていくにせよ、大切であるということです。そのため、決して固定観念に捉われず、常に新しい情報を追求し、キャリアパスについて柔軟に考えていきたいと思っています。

この企画を通じて、多くの方々が新たな知的発見・知的刺激を受けることで感化され、自らのキャリアパスを創造するきっかけとなり、次代の日本を担う優秀な人材の育成と輩出のお手伝いをできたことは、光栄に思います。

当日、ご来場して下さった方々は、将来に対して本当に熱い想いが感じられる人たちばかりで、活発に意見交換が行われていました。終了後、参加学生からも「参加して満足した」「とても示唆に富む内容だった」といった声が多く寄せられ、「来年以降もこのような企画が可能ならば、ぜひ、してほしい」という声も非常に多く、企画担当者としてうれしい限りでした。

薬剤師国家試験
対策セミナー

薬塾

あなたを合格へと導きます!

<http://yakujuku.com/>

この2か月があなたを変える!

卒業試験等のため、初めから通うのは難しいという方に!

短期集中コース 途中入校歓迎!(講義料は日割りとなります)

“短い期間で深い内容” 国試の要点をしっかりとおさえた講義でラストスパート!

【期間】平成21年1月7日(水)~3月4日

【定員】32名

【受講料】入学金30,000円+講義料390,000円

(テキスト代、エキスパート2模擬試験受験料を含みます)

エキスパート2 模擬試験

国家試験対策のプロが作るオリジナル問題

【試験日】平成21年1月17日(土)、18日(日)

【受験料】6,000円

自宅受験もできます!

薬学必修講座(通称白本)を出版する評言社が、長年の実績を持つベテラン講師陣を集結。少人数制の利点を生かしつつ、専門分野ごとに特化した専門の講師による指導で、「自分で考えて解く」自主性を身につけられます。

最高のアクセスで“らくらく通学”

JR【御茶ノ水】、都営新宿線・都営三田線・半蔵門線【神保町】—各徒歩4分
丸の内線【御茶ノ水】、千代田線【新御茶ノ水】—各徒歩5分

薬剤師国家試験対策セミナー

薬塾

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町3-20 越後屋ビル2階

フリーダイヤル: ☎0120-891986

TEL: 03-6273-1311 FAX: 03-6273-1312